

令和7年度 第9回浄水地域会議 会議録

- 日 時 令和8年1月14日（水） 午後7時～8時
- 場 所 浄水交流館 大会議室
- 出席者

＜委 員＞ 勝野 房則 加藤 耕助 成瀬 博文
桑原 正明 佐竹 修 野畠 安浩

＜事務局＞ 杉浦 智文（地域交流課 課長） 吉村 直樹（地域交流課 担当長）
渡邊 洋一（地域交流課 主任主査）

■ 内 容 「地域と若者がつながるしくみづくりについて」

SNSを活用した地域情報展開のしくみについて

（前回の振り返り、LINEオープンチャットの事例紹介、しくみづくりについての意見交換）

■ 議事内容（要約）

- ・自治区では公式アカウントにより一方向の発信を行っている。受信者側の反応が見えない課題はあるものの、自治区で双方向のしくみまでは取り組む勇気がない。
- ・理由は、問い合わせや不適切な投稿に対する対応への負担が大きくならないか心配であること。また、投稿情報の信ぴょう性についてもコントロールが難しいこと。
- ・マナー良く使ってもらうためのルールをどう周知するかが課題。他の事例では、参加時にルール遵守の同意を求めている。信ぴょう性確保については、管理名を公開し、管理者投稿のみを公式情報として運用している例がある。
- ・課題があるのならば、参加コードを限定公開にして検証するのも1つのやり方では。限定範囲であれば、対応の負担や影響も少ない。
- ・目的是、中学校卒業のタイミングで地域と疎遠になってしまう若者への情報伝達。若者に対してどのようなタイミングで、どんな内容を投げかけるのが効果的かを考えたい。
- ・すべての年代を対象に自治区で運用するのは難しそうだが、夏祭り、まごころフェスタ、マルシェのようなイベントは検証の場としては相性が良いのでは。
- ・リアルタイムの出店情報や現場状況は、みなさん関心があるので。参加者にとってのお得情報が流せるとよい。
- ・清掃活動でオープンチャットを活用している事例があった。例えば、ウォーキング大会で写真を撮って送れば参加賞がもらえる等のしきけをして、登録や投稿を促せると良いのでは。
- ・若者が集まるタイミングとしては、二十歳のつどいや中学校卒業式での案内はどうか。
- ・今年の成人式でも参加を促していたが、式典当日の案内では伝わっていない様子だった。自分の生活に直結する情報が掲載されているかが大切なのでは。一度、学校共働本部に相談してみるのが良いのでは。
- ・まずは、単発イベント（マルシェ、ウォーキング大会、中学校関係行事）での検証に向けて調整を進める。関係者・参加者の反応を見ながら、あり方について深堀りしてきたい。

■ 今後の予定

令和7年度第11回浄水地域会議

令和8年3月11日（水）午後7時～ 浄水交流館大会議室（※第10回 2/4は休会予定）